

要保存 《重要》

野外教育事業所ワンパク大学より 保護者のみなさまへ

◆安心してご参加いただくためのご案内です。必ずお読みください。

悪天候時の対応

→ 「雨も自然の一部」という考えのもと、雨の場合も出来る限り雨具を着て活動する予定です。

- ① 雨だからこそ楽しめることを、子どもと一緒に感じ、自然を体感するチャンスとして活用します。
(水たまりで遊ぶ、雨の落ちる音を聞いてみる、木の繁った葉の下で雨の降り方を見る、など)
- ② 子ども達の気持ちがネガティブにならないよう、いつも以上にスタッフが声をかけていきます。

ただし、安全に実施することが困難であると判断した場合、代替プログラムに変更いたします。

※代替プログラムは、機関紙きんたろうにて、ご案内した内容になります。

※警報・注意報の発令の有無や天気予報も加味した上で、プログラムの実施を判断します。

※また、天候が回復しても実施できない場合があります。お子様の心と身体の安全を一番に考え実施判断します。

『中止』について

→ 以下の場合、活動の開催を中止します。

- ① 暴風・大雨・その他自然災害や人的災害により、公共交通機関が止まる可能性がある場合や活動の実施が不可能と当団体が判断した場合
- ② その他、開催初日までの間に、不測の事態が発生した場合
※開催直前に、悪天候等で実施困難と判断した場合、前日の19時までに、直接、各ご家庭へご連絡します。
※不測の事態により、当日緊急に中止を決定した場合には、事前にご提出いただいた 緊急連絡先にご連絡いたします。

健康管理について

→ 以下の通り、衛生面・健康面へ十分配慮し活動を実施します。

- ① 感染症予防のため、手洗いうがいの徹底や食事前には手の消毒を行います。
- ② スタッフの健康管理に関しては、活動時はお子様同様、手洗いうがいを徹底実施します。また、前日に体調の確認を実施し、体調不良の者については、参加を見合わせるようにしています。
※活動中、万が一発熱や病気の疑いがある場合や大ケガをした際には、至急保護者の方へ連絡し、医療機関へかかります。
尚、キャンプ期間中、風邪・発熱等で受診の場合は掛かった費用(診察代、交通費等)を各ご家庭にご負担いただきますので、ご了承ください。
※活動日以前に感染症の疑いがみられる症状がある場合は医療機関を受診していただき医師の指示に従い、参加の可否をご連絡ください。
※集合時、明らかな体調不良・熱が高いなどの症状がみられる場合、参加をお断りすることがございます。予めご了承ください。

非常時の連絡体制

→ 非常時、電話等が繋がりにくい状況となった場合には、以下の方法で情報配信します。

- ① ホームページでの情報発信
⇒ 当団体のホームページにて情報を配信します。
- ② 災害用伝言板サービスの利用 (詳しくは、ご利用の携帯電話各社ウェブサイト等で事前に必ずご確認ください)
⇒ 震度6弱以上の地震等、大規模な災害が発生した際、各社携帯電話会社により開設されるサービスです。

災害用伝言ダイヤル

- ①「災害用伝言ダイヤル(171)」にアクセス → ②ガイダンスに従って電話番号を入力 → ③メッセージの録音または再生
※活動中、開催地にて特に何事もなければ、各ご家庭への連絡はいたしません。
※活動中、非常事態となった場合には、活動場所の近くの避難場所に移動する予定です。

その他

- ① 班編成について⇒新しいお友達をたくさん作ることも活動の大きなねらいの1つです。ホームページ等でも記載しております通り、お友達・兄弟の参加は別々の班になります。班分けについては当方にお任せください。
- ② 子ども達の自主性・協調性・団体生活を身につけることを目的としています。しかし、人命に関わる場合や、人を傷つけたり、公共のマナーに反する場合には、注意をすることもあります。ご理解ください。
- ③ 活動中、持ち物の取り間違えでのトラブルが発生することがあります。持ち物には必ず名前をご記入してください。また、忘れ物としてこちらから郵送する場合は、着払いにてご郵送させていただきます。

安全への配慮

参加者の皆様の安全管理を最優先として活動しながらも、自然体験活動においては、気象条件などによって、不測の事故は起こりうるものです。危険を十分に理解しながらもお活動を続けるのは、学校や家庭では難しいとされる自然体験の重要性に気付き、それを伝えることが使命と考えているからです。安全対策を徹底し、あらかじめ予測される危険を回避しながら、プログラムの質の向上につながるような努力を続けております。活動に参加される際には、その点をご理解いただき、ご参加ください。

- **安全教育の徹底(参加者)** 自然体験活動では、「参加者の安全は参加者自身が守る」という意識が基本と「安全に関する注意(セーフティーク)」という時間を設けています。子ども自身が受け身でなく、主体的に「安全」に取り組めるような場を作ることで、事故を未然に防いでいます。また、活動中は、手洗いうがいの奨励、適切な衣類の着用、水分補給、体調管理などの指導を繰り返し行っています。
- **安全教育の徹底(指導者)** 職員、ボランティアカウンセラーに対しての安全教育(救急法の受講、事前ミーティング、危険箇所の伝達、危険予知トレーニング、けがなどの事例の共有等)を徹底しています。また、非常事態が発生した場合に備え、様々な状況を想定したマニュアル(連絡体制の把握、緊急時対応等)を整備し、職員・スタッフ参加のもとでトレーニングを行っています。
- **活動場所(キャンプ場)の安全確認** 活動場所の整備、周辺の緊急連絡先の把握、悪天候時の避難先など、活動地別に安全に活動できるように安全対策を実施しています。また、周辺の天候、注意報・警報発令の有無なども把握し、実施の判断をしています。
- **地域の方々からの理解** 各地での活動は、地域の方々の協力を頂きながら実施しています。
- **関係団体と連携した安全への取り組み** 当団体は、全国の様々な野外活動団体・グループ(現在は約600団体)が協力して展開している「SAFETY OUTDOOR キャンペーン」に参加協力しています。
- **アウトドア事業者安全性評価認定基準により認証された団体** 当団体は、(一社)日本アウトドアネットワークのアウトドア事業者安全評価委員会により、安全に対する取り組み状況を評価し、認証された団体です。
- **保険加入について** 万が一のために参加者は傷害保険に自動加入となります。怪我や事故があった場合はその範囲内で補償いたします。ただし、参加者の故意または過失により、他人に怪我をさせたり、他人の物を壊したりした場合はその範囲ではありません。故意または過失があった場合は、参加者及びその保護者の負担となります。ご了承下さい。

